

「届けよう！服のチカラプロジェクト」に協力しました。

収集前



収集後



旭川藤星高等学校の2、3年生の有志が中心になって行いました。皆さんから、“捨てようと思っていた“、”タンスに眠っていた”等の不要になった服を寄付していただき、難民の方々や服を必要としている場所に届けるという活動です。

10月いっぱい、こども服の回収箱を東旭川支所の布回収コーナー横に併設し、東旭川支所だけでも写真の量の善意が集まりました。藤星高校生はニコニコ。難民の方は服をもらってきっと心もからだもホッカホカになられたことでしょう。

地域の皆様
たくさんのご協力
ありがとうございます
ございました

旭川中学校の取り組み



旭川中学校は、令和3年度旭川市地域学校共同活動モデル地域に指定されており、東旭川地域住民との連携・協働に力を入れています。

9月21日（アルツハイマーデー）には、東旭川・千代田地域包括支援センターと連携して、地域包括支援センターについてと認知症の方々の見守りのための学習に取り組みました。10月17日には、柔道部が東旭川中央地区市民委員会と連携してイチョウなどの枯れ葉を集める清掃活動を行いました。

同校では、社会科で地元東旭川の歴史を学ぶ時に、平成30年に当会で編集発行した「東旭川の記憶」という郷土史を資料として読んでいます。

美術部では、資料を読み東旭川の歴史に思いを巡らしながら、現在絵画を創作中です。全部員の各々が感じたイメージを基に肉付けし、色を施しキャンバスに具象化している真っ最中です。制作中のビデオ撮影なども行っており、全員の作品完成後には、色々なメディアを通じてみなさんに発信したいと考えております。

旭川の発祥の地は、実は東旭川だった。東旭川に以前は電車が走っていた、などなど意外な事実がわかるかもしれません。 乞う！ご期待です。

高齢者見守りのための意見交換会（東旭川中央地区）

昨年4月1日現在の本市の高齢化率は34.2%。実に、市民の3人に1人が65歳以上の高齢者です。加齢に伴い認知症などの問題を抱える方も年々増加しています。高齢者や家族の不安を緩和し安全安心な生活を送ってもらうとともに、高齢者世帯及び高齢者単独世帯の孤立を防ぐためにも、高齢者世帯を見守る体制のさらなる整備充実が必要になってきています。現在、東旭川中央地区では高齢者の見守りは、市民委員会と地区社会福祉協議会及び民生委員児童委員協議会の3団体で別々に行っていることから、一日に別々の団体が同じ高齢者を訪問しその高齢者が疲労してしまうなどの弊害が発生しています。